

コンビニ収納手数料 1件 57円

契約をタテに、公表を渋る

「税金などの「コンビニ」収納が広がり、支所の代替え機能が充実してきた」と、支所廃止を計画する釧路市は言います。では、「コンビニ」収納をしたら、市はいくら手数料を支払うのが」と、市民の方が問い合わせると、契約で手数料の金額は公開できないという返事が返ってきました。「そんなのは納得できない」と共産党議員団に話が持ち込まれました。……

村上議員は、「こんな話は聞いたこともない」と、納税課に問い合わせたなら、やっぱり相手側との契約で金額については、第三者に伝えられないことになっているというのです。税金が使われているのに、公開もできない、いわば「ブラックボックス」みたいな話です。早速、村上議員の



調査が始まりました。調べていくと、すぐ二つのことがわかりました。

① 銀行などに税金を納めると、市から銀行への手数料の支払いはない。

② 北海道も「コンビニ」収納をしているが、入札で決定。相手先も金額も公表している。

市の非公開を前提とした契約は、余りにも相手先を優遇しています。なによりも金額が未公開なら、適正な金額かどうか、議会がチェックすることもできません。

村上議員は、この問題を9月議会での一般質問で取り上げることを通告しました。

質問の日が迫ってきた時、突然担当部長が共産党の控室に、「市民の方からも情報公開の請求が出ており、さまざま検討した結果、金額を公表課することにしました」とのこと。

実際に公表された金額は、一件57



円。北海道が入札で決めた金額より3円も高いものでした。

村上議員は、入札によって決定するよう求めました。これに対して市は、業者が変わるとシステム改修や様式の変更があることから、現事業者との契約を続けたいが、契約の見直しについて話し合いたいと答えました。

大楽毛 津波避難の複合ビル2棟の建設

大楽毛地域に津波避難機能を備えた二つの複合ビルがつくられることになりました。ひとつは、生活館や児童館が入り、もう一つは消防支署が入ります。村上議員も何度も質問で取り上げた施設であり、地域にとっては大きな朗報です。

しかし、星が浦、鶴野、新富士、鳥取、昭和も同じように津波の危険があるのに、新たな施設整備は検討されていないようです。これで終わりとしてはなりません。

